

数学 コース 1

(基本コース)

(コース2は11ページからです)

「解答コース」記入方法

解答コースには「コース1」と「コース2」がありますので、どちらかのコースを一つだけ選んで解答してください。「コース1」を解答する場合は、右のように、解答用紙の左上にある「解答コース」の「コース1」を○で囲み、その下のマーク欄をマークしてください。選択したコースを正しくマークしないと、採点されません。

< 解答用紙記入例 >	
解答コース Course	
コース 1 Course 1	コース 2 Course 2
●	○

I

問 1 次の 2 つの条件を満たす 2 次関数を求めよう:

- (i) $x = 1$ と $x = 5$ で同じ値をとる。
- (ii) $-2 \leq x \leq 6$ における最大値は 30 であり、最小値は -20 である。

求める 2 次関数を

$$y = ax^2 + bx + c$$

とおくと、条件 (i) より

$$b = -\boxed{A}a$$

を得る。さらに、この 2 次関数は条件 (ii) を満たすから

$$\begin{cases} -\boxed{B}a + c = -20 \\ \boxed{CD}a + c = 30 \end{cases}$$

または

$$\begin{cases} -\boxed{B}a + c = 30 \\ \boxed{CD}a + c = -20 \end{cases}$$

を得る。したがって、求める 2 次関数は

$$y = \boxed{E}x^2 - \boxed{FG}x - \boxed{H}$$

と

$$y = -\boxed{I}x^2 + \boxed{JK}x + \boxed{LM}$$

である。

問 2 $P = 6ab + 9a - 4b - 6$ とする。

(1) P は

$$P = (\boxed{N}a - \boxed{O})(\boxed{P}b + \boxed{Q})$$

と因数分解できる。

(2) $a = \frac{\sqrt{6}}{3}$, $P = \sqrt{3} - \sqrt{2}$ のとき, $b = \frac{\sqrt{\boxed{R} - \boxed{S}}}{\boxed{T}}$ である。

(3) $P = 17$ を満たす整数 a, b の組は

$$(a, b) = (\boxed{U}, \boxed{V}), (a, b) = (\boxed{WX}, \boxed{YZ})$$

の 2 組である。

注) 因数分解する : factorize

1 の問題はこれで終わりです。

II

問 1 箱の中に 7 枚のカードがあり、カードにはそれぞれ -3 から 3 までの異なる整数が 1 つずつ書かれている。

(1) 取り出したカードを箱の中に戻さないで 1 枚ずつ続けて 3 枚のカードを取り出すとき

ABC 通りの場合がある。また、箱の中から、同時に 2 枚のカードを取り出すとき **DE** 通りの場合がある。

(2) 取り出したカードを箱の中に戻さないで 1 枚ずつ続けて 3 枚のカードを取り出す。

カードに書かれた数字を取り出した順に a, b, c とするとき

$$a < b < 0 < c$$

となる確率は $\frac{F}{GH}$ である。

(3) 同時に 2 枚のカードを取り出したとき、それらのカードに書かれた 2 つの数の積が

負である確率は $\frac{I}{J}$ であり、積が正である確率は $\frac{K}{L}$ である。

数学-6

問 2 実数 a, x, y は

$$x + ay = 1, \quad x^2 + (ay)^2 = 5, \quad xy = 9$$

を満たしている。

(1) $(x + ay)^2 = x^2 + (ay)^2 + \boxed{M} axy$ であるから, $a = \frac{\boxed{NO}}{\boxed{P}}$ である。

(2) $x^3 + (ay)^3 = \boxed{Q}$ である。

(3) $x > 0$ のとき, $x^3 - (ay)^3 = \boxed{R}$ である。

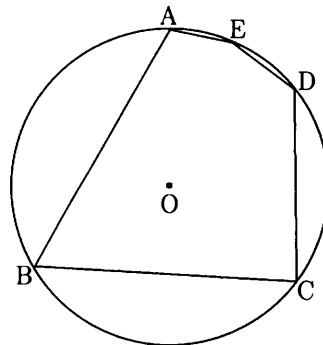
II の問題はこれで終わりです。II の解答欄 S ~ Z は空欄のままにしてください。

III

図のような円 O に内接する五角形 ABCDE において 4 辺の長さは

$$AB = BC = 6\sqrt{2}, \quad CD = 2\sqrt{6}, \quad DE = 4$$

とする。また、三角形 ABC は面積 $18\sqrt{3}$ の鋭角三角形とする。このとき、五角形 ABCDE の残りの辺 AE の長さを求める。



(1) $\angle ABC = \boxed{AB}^\circ, \angle ADC = \boxed{CDE}^\circ$ である。

(2) $AC = \boxed{F}\sqrt{\boxed{G}}$ であるから、 $\angle CAD = \boxed{HI}^\circ, \angle AED = \boxed{JKL}^\circ$ である。

(3) $AE = x$ とすると、 x は

$$x^2 + \boxed{M}\sqrt{\boxed{N}}x - \boxed{O} = 0$$

を満たす。これを解いて

$$AE = \boxed{P} \left(\sqrt{\boxed{Q}} - \sqrt{\boxed{R}} \right)$$

を得る。

注) 内接する : be inscribed, 鋭角三角形 : acute triangle

III の問題はこれで終わりです。III の解答欄 S ~ Z は空欄のままにしてください。

IV

関数 $y = |x|(x - 2) + 5$ のグラフと関数 $y = 4x + c$ のグラフの共有点の個数 N を調べよう。

共有点の x 座標は、方程式 $|x|(x - 2) + 5 = 4x + c$ の解であるから、関数

$$y = |x|(x - 2) + 5 - 4x \quad \dots \dots \dots \quad ①$$

のグラフと $y = c$ のグラフの共有点の x 座標と一致する。

そこで、①のグラフをかくために、絶対値の記号をはずすと

(i) $x < 0$ のとき、①は $y = -x^2 - \boxed{A}x + 5$

(ii) $x \geq 0$ のとき、①は $y = x^2 - \boxed{B}x + 5$

となる。したがって、①のグラフと $y = c$ のグラフの共有点を調べると、求める N の値は

$$c < \boxed{CD} \text{ のとき, } N = \boxed{E}$$

$$c = \boxed{CD} \text{ のとき, } N = \boxed{F}$$

$$\boxed{CD} < c < \boxed{G} \text{ のとき, } N = \boxed{H}$$

$$c = \boxed{G} \text{ のとき, } N = \boxed{I}$$

$$\boxed{G} < c \text{ のとき, } N = \boxed{J}$$

である。

注) 絶対値 : absolute value

- 計算欄 (memo) -

[IV] の問題はこれで終わりです。[IV] の解答欄 [K] ~ [Z] は空欄のままにしてください。

コース 1 の問題はこれすべて終わりです。

解答用紙の [V] は空欄のままにしてください。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

〈数 学〉

コース 1

問	I								
	問 1				問 2				
解答欄	A	B	CD	EFGH	IJKLM	NOPQ	RST	UV	WXYZ
正解	6	9	16	2122	21212	3223	264	17	-5-2

問	II								
	問 1				問 2				
解答欄	ABC	DE	FGH	IJ	KL	M	NOP	Q	R
正解	210	21	370	37	27	2	-29	7	9

問	III						
	AB	CDE	FG	HI	JKL	MNO	PQR
正解	60	120	62	30	150	438	253

問	IV								
	A	B	CD	E	F	G	H	I	J
正解	2	6	-4	1	2	6	3	2	1

コース 2

問	I								
	問 1				問 2				
解答欄	A	B	CD	EFGH	IJKLM	NOPQ	RST	UV	WXYZ
正解	6	9	16	2122	21212	3223	264	17	-5-2

問	II				III							
	AB	CDEFG	HIJ	ABC	DE	FG	HI	J	K	L	MN	O
正解	12	51211	341	256	16	12	64	0	1	2	-1	6

問	IV								
	問 1								
解答欄	A	B	CD	E	FG	H	IJ	KL	MNO
正解	1	2	-2	1	-1	2	32	73	136

問	IV						
	問 2						
解答欄	R	ST	U	V	W	XY	Z
正解	8	78	2	2	0	14	1